

## 令和 7 年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
論理国語	普通科 2 年（S・A 共通）	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 論理国語（大修館） <input type="checkbox"/> 論理国語 学習ノート（大修館） <input type="checkbox"/> 問題集 <input type="checkbox"/> 現代文単語帳
------	---

科目の目標		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を I C T や辞書、補助教材を用いて身に付けるようにする。	協働的かつ対話的な活動をと おして、論理的・批判的に考 える力を伸ばすとともに、創造 的に考える力を養い、他者との関 わりの中で伝え合う力を高め、 自分の思いや考えを広げたり 深めたりすることができるよ うにする。	言葉がもつ価値への認識を深 めるとともに、生涯にわたって 読書に親しみ自己を向上させ、 我が国の言語文化の担い手と しての自覚を深め、言葉を通し て他者や社会に関わろうとす る態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3 0 %	5 0 %	2 0 %

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>B 評価の規準</b></p> <p>〔知識・技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解できている。</li> <li>・筆者の主張とその前提や反証などについて理解できている。</li> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができている。</li> </ul>	<p><b>B 評価の規準</b></p> <p>〔思考・判断・表現〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえることができている。</li> <li>・多面的、多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすることができている。</li> <li>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができている。</li> <li>・文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな視点から自分の考えを深めることができている。</li> </ul>	<p><b>B 評価の規準</b></p> <p>〔主体的に学習に取り組む態度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝えようとしている。</li> <li>・学習課題に沿って、本文の内容や表現に注意しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。</li> <li>・従来の物事のとらえ方や考え方を改めて見つめ直すことに興味・関心をもとうとしている。</li> </ul> <p>※〔主体的に学習に取り組む態度〕は、課題（提出状況及び取組内容）、言語活動時の自己評価等で評価します。</p>
<p>※〔知識・技能〕と〔思考・判断・表現〕は、定期考査及び単元ごとの小テスト、授業中の課題等で評価します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	世界を広げる「批評」の言葉	4	語彙、表現
5			筆者の意見や根拠の読解

6	ミロのヴィーナス	6	語彙、表現（比喩）
			芸術論について
			資料との比較
7	コミュニティから見た日本	5	語彙、表現
			資料と関連づけた読解
			論の展開（対比）
8 9	科学は生きている	7	語彙、表現
			論の展開
			自分の考えを述べる
10	「方言コスプレ」現象	4	語彙、表現
			筆者の視点や展開の理解
11	デジタル地図から見える世界	5	語彙、表現
			論の展開（対比）
12	分かち合う社会	4	語彙、表現
			本文と引用文との関連性
1 2	心に「海」を持って 現代日本の開化	7	語彙、表現
			複数資料の読解
			要旨の理解
3	人工知能の可能性と罣	3	語彙、表現
			論の展開（具体例）
			本文を踏まえた自分の考えをもつ

## 令和 7 年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
文学国語	2 年普通科 S 類型	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 文学国語（数研出版） <input type="checkbox"/> 文学国語 準拠ノート <input type="checkbox"/> 問題集 <input type="checkbox"/> 国語便覧 <input type="checkbox"/> 現代文単語帳
------	--

科目の目標		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3 0 %	5 0 %	2 0 %

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> <b>〔知識・技能〕</b> ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができている。 ・本文を読み取ることを通して、読書の意義と効用についての理解をおおむね深めることができている。	<b>B 評価の規準</b> <b>〔思考・判断・表現〕</b> ・作品の構成と展開を踏まえ、表現がもたらす効果について、おおむね理解することができている。 ・作者の経歴と作品の成立背景を調べ、作者の心情をおおむね理解し、作品の解釈を深めることができている。 ・複数の文章を比較することで、それぞれの表現方法にはどのような違いがあるかをおおむね考察することができている。	<b>B 評価の規準</b> <b>〔主体的に学習に取り組む態度〕</b> ・学習課題を踏まえて粘り強く本文設定の考察に取り組んでいる。 ・学習課題を踏まえて話し合いや記述などの言語活動に粘り強く取り組んでいる。  <b>※〔主体的に学習に取り組む態度〕</b> は、課題（提出状況及び取組内容）、言語活動時の自己評価等で評価します。
<b>※〔知識・技能〕と〔思考・判断・表現〕は、定期考査及び単元ごとの小テスト、授業中の課題等で評価します。</b>		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4 5	山月記	7	語句・表現 心情の整理 本文の主題の理解
6 7	無用の人	6	語句・表現 心情の整理 本文を踏まえた題名の考察
8 9	山椒魚	6	語句・表現 心情の整理 寓意を踏まえた主題の理解

10	詩歌「表札」「発車」	5	韻文の鑑賞 語句・表現
11	文学のふるさと	6	語句・表現
12			筆者の主張を読み取る
1	演技する「私」		語句・表現
		6	筆者の主張を読み取る
			文学作品の語りの特徴
2	古典と現代語訳『源氏物語』		語句・表現
3		7	複数文章の比較
			表現の特徴についてまとめる

## 令和 7 年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
地理総合	普通科 2 年 総合ビジネス科 2 年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 地理総合（東京書籍） <input type="checkbox"/> 地図帳 基本地図帳（二宮書店） <input type="checkbox"/> 資料集 最新地理図表 GEO（第一学習社）
------	---

科目の目標		
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを系統的に理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用い、ICT も活用しながら調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、協働的な学習をとおして地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事情について、地域に関する学びや体験等を踏まえてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B評価の規準</b> [わかった・できた] ・各時間の「問い」や「課題」に対して、ポイントとなる語句を理解し、キーワードとして挙げるができる。 ・各時間の「問い」や「課題」に対する答えを導くために、資料から必要な情報や見方・考え方を読み取ることができる。	<b>B評価の規準</b> [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・各時間の「問い」や「課題」に対して、 ①どんな概念や資料を用いれば良いか、見い出すことができる。 ②テーマを把握し、社会の状況や実体験と考え合わせて、課題の本質や解決策について多面的・多角的に考察している。 ③他者の意見との違いを整理しながら、自己の考えをまとめ、表現している。	<b>B評価の規準</b> [粘り強さ] ・学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、各時間の「問い」や「課題」に対して答えや解決策を導こうとしている。  [自分なりの工夫] ・これまでの学びの振り返りを生かして、ノートの取り方などを工夫している。また、仲間と協働して学び合うことで自己の考えを深めようとしている。さらに、各時間の「問い」や「課題」を自らの問題として捉え、主体的な答えや解決策を導こうとしている。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価は、 単元テスト及び定期考査でも行います。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	1-1 私たちが暮らす世界	3	・24時間、地球は眠らない。 ・丸い地球を、平らな紙に正しく描けるだろうか。 ・小さな島が、大きな意味を持つのはなぜ？
5	1-2 地図や地理情報システムの役割	4	・地図を使わない人は、ほとんどいない。 ・地形や土地利用の歴史がひと目でわかる。 ・このテーマ、どんな地図で表すべきか。 ・地図の可能性は、まだまだ広がる。
6	1-3 資料から読み取る現代世界	5	・地球は、どんどん小さくなっている？ ・世界中が、ネットでつながりはしたけれど。 ・仕事に、旅行に。人々は外国をめざす。



			<ul style="list-style-type: none"> <li>・国どうしの貿易は、どう変化しているのか。</li> <li>・国どうしの結び付きで、世界はどこに向かう？</li> </ul>
7	2-1-1 生活文化の多様性と国際理解	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肉じゃがと言えば？「牛肉だ！」「豚肉だ！」</li> <li>・宗教に根ざした、習慣や文化がある。</li> </ul>
	2-1-2 生活文化と自然環境①地形	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山に住むには、どんな工夫が必要なのか。</li> <li>・流れる川が、地形を変えていく。</li> <li>・さまざまな海岸と、そこでの暮らしとは。</li> </ul>
8 9	2-1-3 生活文化と自然環境②気候	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜこれほど違う？暑さ、寒さ、雨の量。</li> <li>・強い日差しと激しい雨。人々の暮らしと農業は？</li> <li>・雨が少ない！どうやって水を得る？</li> <li>・クーラー不要の地域からストーブ不要の地域まで。</li> <li>・長い冬を過ごすための食料や、町の工夫とは？</li> </ul>
10	2-1-4 生活文化と産業	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の食生活は、気候だけで決まるのだろうか？</li> <li>・工場は、どんな理由でどんな場所に建つのか。</li> <li>・売り方も、買い方も、社会とともに変化する。</li> <li>・ものづくりも働き方もICTが変えていく。</li> </ul>
11	2-2-1 地球環境問題	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気と海に、何が起きているのだろうか。</li> <li>・森林減少と砂漠化、その原因を探る。</li> </ul>
	2-2-2 資源・エネルギー問題	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが、欲しがらる。だから、取り合いに。</li> <li>・地球を、「電池切れ」にさせないために。</li> </ul>
	2-2-3 人口問題	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が増えたのはなぜ？何が問題なのだろう。</li> <li>・若者が減り、高齢者が増えるとどうなる？</li> </ul>
12	2-2-4 食糧問題	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増産しても、まだ足りない。なぜだろう。</li> </ul>
	2-2-5 居住・都市問題	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人は、何を求めて都市に向かうのか。</li> <li>・なぜ、再開発が必要なのか。</li> </ul>
	2-2-6 民族問題	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くり返す対立で、国を追われる人々がいる。</li> </ul>
1 2	2-2-7 持続可能な社会の実現をめざして	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルな課題を、解きほぐす糸口とは。</li> </ul>
	3-1-1 日本の自然環境の特色	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火山や、流れの速い川。日本は動き続けている。</li> <li>・四季ある国の、季節ごとの天候は？</li> </ul>
	3-1-2 さまざまな自然災害と防災	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震が発生するメカニズムとは。</li> <li>・くり返す地震を、災害史から学ぶ。</li> <li>・火山をよく知り、共存していくために。</li> <li>・雪、猛暑、水不足、台風。どんな被害をもたらす？</li> <li>・大雨で、あふれる水。何が起ころうのだろうか。</li> <li>・都市を襲う災害、危険はどこにある？</li> <li>・地域を災害から守るため、いま、できることは？</li> </ul>

3	3-2 生活圏の調査と地域の展望	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のまわりの、地理的テーマを探せ！</li> <li>・「〇〇かな？」まずは仮説を立ててスタート。</li> <li>・どこを歩いて誰に聞くか。計画が大切だ。</li> <li>・地域のこれからを、皆で考えていくために。</li> </ul>
---	------------------	---	--

## 令和 7 年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
歴史総合	普通科 2 年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 詳述歴史総合～（実教出版） <input type="checkbox"/> 資料集 ダイアログ歴史総合（第一学習社） <input type="checkbox"/> ノート 詳述歴史総合 マイノート（実教出版）
------	--

科目の目標		
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近現代史の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそ の中の日本を広く相互的な視 野から捉え、現代的な諸課題の 形成に関わる近現代の歴史を 理解するとともに、諸資料から 歴史に関する様々な情報を適 切かつ効果的に調べまとめる 技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わ る事象の意味や意義、特色など を、時期や年代、推移、比較、 相互の関連や現在とのつなが りなどに着目して、概念などを 活用して多面的・多角的に考察 したり、歴史に見られる課題を 把握し解決を視野に入れて構 想したりする力や、考察、構想 したことを効果的に説明した り、それらを基に議論したりす る力を養う。	近現代の歴史の変化に関わ る諸事情について、よりよい社 会の実現を視野に課題を主体 的に追究、解決しようとする態 度を養うとともに、多面的・多 角的な考察や深い理解を通し て涵養される日本国民として の自覚、我が国の歴史に対する 愛情、他国や他国の文化を尊重 することの大切さについての 自覚などを深める。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5 0 %	3 0 %	2 0 %

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・できた] ・【まとめ (Try)】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿って答えられている。 ・説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、 <u>適切にメモとして残している</u> 。	<b>B 評価の規準</b> [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・【はじめの問い】や【作業 (Point)】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考えを記述できている</u> 。 ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、 <u>仲間のサイン</u> を受けている。	<b>B 評価の規準</b> [粘り強さ] ・学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、提案や発表ができる。 [自分なりの工夫] ・ノートについて、 <u>教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりする</u> など、独自の記述が3か所以上ある。マーカーやアンダーラインも工夫している。  ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、単元テストや定期考査でも評価します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	1. 近代化への胎動	4	・ヨーロッパの海外進出と市民社会 ・清の繁栄 ・東アジア諸国間の貿易 ・江戸時代の日本の対外政策
5	2. 欧米の市民革命と国民国家の形成	6	・江戸時代の社会と生活 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン ・ウィーン体制 ・19世紀のイギリスとフランス ・イタリア・ドイツの統一
6		5	・東方問題と19世紀のロシア ・アメリカの発展と分裂 ・世界市場の形成

6	3. アジアの変容と日本の近代化		<ul style="list-style-type: none"> <li>・イスラーム世界の改革と再編</li> <li>・南アジア・東南アジアの改革と再編</li> </ul>
7		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アヘン戦争の衝撃</li> <li>・ゆらぐ幕藩体制</li> <li>・開国</li> <li>・幕末政局と社会変動</li> </ul>
8		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新政府の成立と諸改革</li> <li>・富国強兵と文明開化</li> </ul>
9	4. 帝国主義の時代		<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代的な国際関係と国境・領土の画定</li> <li>・自由民権運動の高まり</li> <li>・立憲国家の成立</li> </ul>
		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帝国主義と世界分割</li> <li>・帝国主義期の欧米社会</li> <li>・条約改正</li> <li>・日清戦争</li> </ul>
10	5. 第一次世界大戦と大衆社会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日露戦争から韓国併合へ</li> <li>・日本の産業革命と社会問題</li> <li>・アジア諸民族の独立運動・立憲革命</li> </ul>
		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊迫する国際関係</li> <li>・第一次世界大戦</li> <li>・ロシア革命とシベリア出兵</li> <li>・大戦景気と米騒動</li> </ul>
11	6. 経済危機と第二次世界大戦	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヴェルサイユ体制とワシントン体制</li> <li>・西アジア・南アジアの民族運動</li> <li>・東アジア・東南アジアの民族運動</li> <li>・戦間期の欧米</li> <li>・ひろがる社会運動と普通選挙の実現</li> <li>・政党内閣の時代</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界恐慌</li> </ul>
12		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシズムの時代</li> <li>・満州事変と軍部の台頭</li> <li>・日中戦争</li> <li>・第二次世界大戦とアジア太平洋戦争</li> <li>・戦争と民衆</li> <li>・敗戦</li> </ul>

1		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際連合と戦後世界</li> <li>・戦後と占領の始まり</li> <li>・民主化と日本国憲法</li> <li>・冷戦の開始</li> <li>・朝鮮戦争と日本</li> </ul>
	7. 冷戦と脱植民地化		<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷戦対立の推移</li> </ul>
2		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植民地の独立と第三世界の出現</li> <li>・米ソ両陣営の同様</li> <li>・日本の国際社会復帰と高度経済成長</li> </ul>
	8. 多極化する世界		<ul style="list-style-type: none"> <li>・石油危機と世界経済</li> <li>・緊張緩和から冷戦の終結へ</li> </ul>
3		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域協力の進展</li> <li>・日本の経済大国化</li> </ul>
	9. グローバル化と現代世界		<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷戦体制の終結</li> <li>・地方紛争と世界経済</li> <li>・グローバルな認識へ</li> </ul>

## 令和 7 年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
数学Ⅱ・数学A	普通科 S 類型・2 年	数学Ⅱ：4 数学A：1	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 新編 数学Ⅱ，新編 数学A（数研出版） <input type="checkbox"/> 問題集 Study-Up ノート数学Ⅱ（数学Ⅰ＋A）
------	---

科目の目標		
<p>○以下の分野について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。</p> <p>数学Ⅱ…<u>複素数と方程式</u>，<u>図形と方程式</u>，<u>三角関数</u>，<u>指数関数と対数関数</u>，<u>微分法と積分法</u>            数学A…<u>図形の性質（空間図形から）</u></p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各分野についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	<p>以下の力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力</li> <li>・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力</li> <li>・関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力</li> <li>・関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力</li> </ul>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○観点別目標の達成や取組の状況において</p> <p>「十分満足できる」状況と判断される場合「A」（点数での目安：7割以上）</p> <p>「おおむね満足できる」状況と判断される場合「B」（点数での目安：3割以上7割未満）</p> <p>「努力を要する」状況と判断される場合「C」（点数での目安：3割未満）</p> <p>と評価する。</p>		
<p>○「知識・技能」の評価問題を理解している。</p> <p>（定期考査）</p> <p>（到達度チェックテスト）</p> <p>（授業時の解答状況等）</p> <p>（自己評価）</p>	<p>○「思考力・判断力・表現力」の評価問題を理解している。</p> <p>（定期考査）</p> <p>（到達度チェックテスト）</p> <p>（授業時の解答状況等）</p> <p>（自己評価・相互評価）</p>	<p>○授業に臨む態度等（日々の授業時）</p> <p>○課題（宿題）等の取組状況（プリント・ノート等）</p> <p>○努力度・理解度の自己評価（到達度チェックテスト）</p> <p><b>※「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえたうえで評価する。（例：CCA という評価はほぼありえない。）</b></p>
<p>○主に「定期考査」、単元末または節末ごとに実施する「到達度チェックテスト」にて評価する。</p>		



学習計画			
月	単元	時 数	学習項目
4	【数学A】 第2章 図形の性質 第1節 平面図形	5	1. 三角形の辺の比 2. 三角形の外心・内心・重心
5		18	3. チェバの定理・メネラウスの定理 4. 円に内接する四角形 5. 円と直線 6. 2つの円 7. 作図
6	第2節 空間図形  【数学II】 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	18	8. 直線と平面 9. 空間図形と多面体  1. 複素数とその計算 2. 2次方程式の解 3. 解と係数の関係
	1 学期期末考査		
7	第2節 高次方程式	12	4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式
8	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	3	1. 直線上の点
9	第2節 円	16	2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の関係 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円
10	2 学期中間考査		
	第3節 軌跡と領域  第4章 三角関数 第1節 三角関数	20	8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域  1. 角の拡張 2. 三角関数 3. 三角関数のグラフ

11	第2節 加法定理	20	4. 三角関数の性質 5. 三角関数を含む方程式, 不等式 6. 加法定理 7. 加法定理の応用
	2学期期末考査		
12	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	15	1. 指数の拡張 2. 指数関数
1	第2節 対数関数	14	3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数
2	3学期学年末考査		
	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	10	1. 微分係数 2. 導関数とその計算 3. 接線の方程式
3	第2節 関数の値の変化	8	4. 関数の増減と極大・極小 5. 関数の増減・グラフの応用

## 令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
化学基礎	普通科・2年生 (S類型)	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 化学基礎 (数研出版) <input type="checkbox"/> サポートノート 化学基礎 (数研出版)
------	--

科目の目標		
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成すること。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての観察、実験などを行うことを通して、物質とその変化に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けさせる	物質とその変化を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得させるとともに、報告書を作成させたり発表させたりして、科学的に探究する力を育てる。	物質とその変化に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・できた] ・【まとめと練習】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 ・授業プリントなど説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、 <u>適切にメモに残している</u> 。	<b>B 評価の規準</b> [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・【探究の問い】や【作業】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考えを記述できている</u> 。 ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、 <u>仲間のサイン</u> を受けている。	<b>B 評価の規準</b> [観察・実験] 様々な探究の過程を通して科学の方法を学び、化学的に探究する能力と態度を育てようとするものであり、化学に対する興味や関心も、しっかりとした目的意識をもって行う観察、実験によって一層高めることができる。 [自分なりの工夫] ・授業プリントに教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりする。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	1 章 物質の構成	1	物質の分類と性質
		2	物質と元素
5	1 章 物質の構成	2	物質と元素
		2	物質の三態と熱運動
6	1 章 物質の構成	1	原子の構造
		3	イオンの生成
		1	元素の周期表
7	2 章 物質と化学結合	2	イオン結合とイオン結晶
		3	イオン結合からなる物質
8			
9	2 章 物質と化学結合	3	共有結合と分子
		3	分子間力と分子結晶
10	2 章 物質と化学結合	3	共有結合からなる物質
		3	金属結合と金属結晶

		3	金属
11	3 章 物質の変化	2	原子量と分子量・式量
		2	物質量
		2	溶液の濃度
		2	化学反応式
12	3 章 物質の変化	3	酸と塩基
		3	酸と塩基の分類
		3	水素イオン濃度と p H
1	3 章 物質の変化	3	中和と塩
		3	酸化と還元
2	3 章 物質の変化	2	酸化剤と還元剤
3	3 章 物質の変化	3	科学技術と化学

## 令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
体育	2年普通科・総合ビジネス科	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な課題解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を通して技術の名称や実践、ルールやマナーを理解しようとしている。</li> <li>・課題解決法、練習法、試合法を理解しようとしている。</li> </ul>	<b>B 評価の規準</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシートに毎時の反省を記入し、自己評価をしようとしている。</li> <li>・互いに助け合い、教えあい、高め合おうとしている。</li> <li>・役割を積極的に引き受け事故の責任を果たそうとしている。</li> </ul>	<b>B 評価の規準</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備運動の声出し、活動時の周囲への声掛け、準備・片付けを積極的に行おうとしている。</li> <li>・活動の目的を理解し、実践しようとしている。</li> <li>・他者と協力して周囲に配慮をしようとしている。</li> <li>・健康・安全を確保しようとしている。</li> <li>・授業に積極的に参加しようとしている。</li> </ul>
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、スキルテスト、体育理論で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	ダンス 体づくり運動	10	現代的なリズムのダンス 体ほぐし運動 体の動きを高める運動 実生活に生かす運動の計画
5	球技（選択①）	8	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール
6  7	球技（選択①）	12	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール
	体育理論	2	スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツが経済に及ぼす効果 スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境



8	球技（選択②）	2	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
9	球技（選択 2）	8	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
10	球技（選択③）	8	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
11	陸上競技（長距離走）	8	20分間走・ロード走
12	陸上競技		20分間走・ロード走
1	ダンス 球技	6	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型
2	ダンス 球技	6	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型
3	ダンス 球技	4	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型

## 令和 7 年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
保健	2 年普通科・総合ビ ジネス科	1	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5 0 %	2 0 %	3 0 %

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> ・ 単元テストの内容を理解しようとしている。	<b>B 評価の規準</b> ・ 単元の内容を理解し、文章表現しようとしている。 ・ グループワークでの話し合いにより、単元の学びを深めようとしている。 ・ 発表の内容を分かりやすく説明したりスライドにまとめたりしようとしている。	<b>B 評価の規準</b> ・ 互いに協力して教え合おうとしている。 ・ 役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしている。 ・ 授業に積極的に参加しようとしている。 ・ 発表後に質問をおこない、興味関心を持つようにしている。
※単元テスト、グループ発表の内容、スライドの作成		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	ライフステージと健康	1	座学、単元テスト
5	思春期と健康	1	座学、単元テスト
6	性意識と性行動の選択	6	調べ学習（グループワーク）
7	妊娠・出産と健康		
	避妊法と人工妊娠中絶		
	結婚生活と健康		
	中高年期と健康	1	クラス別発表（グループ）
8	働くことと健康	2	座学、単元テスト
9	労働災害と健康		
10	健康的な職業生活		
11	大気汚染と健康	3	調べ学習（グループワーク）
12	水質汚濁、土壌汚染と健康		
	環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備		
		1	クラス別発表（グループ）

1	さまざまな保健活動や社会的対策	1	座学、単元テスト
2	健康に関する環境づくりと社会参加	1	座学、単元テスト
3	<div> <div>食品の安全性</div> <div>食品衛生にかかわる活動</div> <div>保健サービスとその活用</div> <div>医療サービスとその活用</div> <div>医薬品の制度とその活用</div> </div>	5	調べ学習（グループワーク）
		1	クラス別発表・学年発表（グループ）

## 令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
音楽Ⅱ	普通科S類型、農業食品科、グリーン環境科2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 MOUSA I (教育芸術社) <input type="checkbox"/> 高校生の歌集 つどい
------	---

科目の目標		
音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表している。	B 評価の規準 [自ら表現意図を持っている] ・自己のイメージをもって歌唱、器楽表現ができている。	B 評価の規準 [主体的・協働的] ・学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、発表ができる。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、実技試験で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4 5	<b>【歌唱】</b> 曲種に応じた発声の方法や個性豊かな表現について学び、歌おう。	6	Alleluja 「ヴォイス・トレーニング」 糸 浜辺の歌 からたちの花
5 6	<b>【器楽】</b> ギターの弾き歌いをしよう	10	Kaimana Hila Happy Birthday to you 天体観測

6 7	【鑑賞】 映画音楽 実技試験	8	映画を彩る音楽 映画「ハリーポッターと賢者の石」
8 9	【歌唱】【鑑賞】 ミュージカル・ナンバーを歌おう	8	歌唱：The Phantom of the Opera 鑑賞：ミュージカル《オペラ座の怪人》
10 11	【器楽・創作】 和楽器（箏）に親しみ，演奏と創作 活動に挑戦。	8	基本奏法を身に付ける 音階練習 さくら オリジナルさくら変奏曲
11 12	【歌唱】 さまざまな歌唱表現Ⅱ 【器楽】 ギター独奏や弾き歌い 実技試験	8	菩提樹/フニクリフニクラ Nel cor piu mi sento  愛のロマンス
1 2	【歌唱】 曲の特徴やパートの役割を理解しながらボイスアンサンブルをしよう。 【鑑賞】 オペラ・アリア、作曲者について学び鑑賞しよう。	8	歌唱：赤とんぼ/上を向いて歩こう  鑑賞：オペラ《リゴレット》 オペラ《トゥーランドット》
3	【鑑賞】 日本の伝統音楽について学び楽曲を鑑賞しよう。 1年間のまとめ	4	歌舞伎《京鹿子娘道成寺》 薩摩琵琶《川中島》

## 令和 7 年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
美術Ⅱ	普通科 S 類型・2 年	2	

使用教材	□美術 2（光村図書）
------	-------------

科目の目標		
美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3 3 %	3 3 %	3 4 %



評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B評価の規準</b> [わかった・できた] ・題材に関する知識を学び取っている。 ・題材を表現するための道具を扱う技術、技法を理解している。 ・美術作品の良さ、作家の表現の意図や工夫を学び取ろうとしている。	<b>B評価の規準</b> [よく考え、考えをまとめ、表現できた] ・題材の特徴を捉え、主題を考え、構想している。 ・構想をもとに素材の特性を理解しながら表現しようとしている。	<b>B評価の規準</b> [粘り強さ] [自分なりの工夫] ・学習活動に真剣に取り組んでいる。 ・構想をもとに自分なりの表現を模索し、工夫しながら取り組んでいる。 ・他者の作品の良さを感じ、学び取ろうとしている。  ※作品の未提出や私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価になります。
※定期考査なし。授業態度、作品制作、提出物で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション	1	・年間の目標や美術の領域を理解する
5	「写真の単純化」 ～ポスタリゼーション～	14	・ポスタリゼーションを用いた美術作品の鑑賞
6			・アクリル絵の具の特性と扱い方 ・平塗り技法の知識と習得 ・ポスタリゼーションに適当な写真の選定と効果的な構図の設定 ・色面のグラデーションに合わせた色作りと着色について ・相互鑑賞

7	「採集するように撮影する」 ・シリーズ写真撮影、編集	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真家ベルント・ベッヒャー、ヒラ・ベッヒャーの作品鑑賞を通してシリーズ写真の表現意図や面白さについて学ぶ</li> <li>・写真撮影の基本の知識や技術について学ぶ</li> <li>・写真撮影</li> <li>・写真の編集方法を学び、ポートフォリオにまとめる</li> </ul> ○相互鑑賞
8			
9	「比べて鑑賞する」 ～自分が座りたい椅子～	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイン史を代表するイスのデザインを鑑賞して作者の制作意図や工夫、面白さを感じ取る</li> <li>・主題を決め、それが伝わるデザイン画を描く</li> <li>・デザイン画をもとにマケットを制作する</li> <li>・自分の椅子のデザインの狙いをプレゼンテーションにまとめ上げる</li> </ul>
10	・椅子のデザインのデザイン画を描き、それをもとにマケット（模型）を制作する		
11	・デザイン画とマケットをもとに自分の椅子をプレゼンテーションする		
12	「日本美術史」	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代から現代までの日本美術の特徴を学び、日本美術が持つ、時代性、民族性、風土、宗教など他国の美術との相違点や共通点について考えや見方、感じ方を深める</li> </ul>
1	「住まいをデザインする」 ～自分の住みたい家～ ・建築模型制作	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築家 隈研吾の建築の鑑賞を通して建築のもつ魅力や建築家の意図や工夫について学ぶ</li> <li>・建築物を設計する時に建築模型が作成されることを知る</li> <li>・住みたい家のデザイン画を描く</li> <li>・デザイン画をもとにスチレンボードを活用し、住みたい家の建築模型を制作する</li> <li>・相互鑑賞</li> </ul>
2			
3			

## 令和 7 年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
書道Ⅱ	普通科 S 類型、農業 食品科、グリーン環 境科・2 年	2	

使用教材	□書Ⅱ(光村図書)
------	-----------

科目の目標		
書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようになる。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。 ・単元に関する知識を学び取っている。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・用筆、運筆、字形を構想し工夫し、相手に伝えることができている。 ・全体の調和や目的に則した表現形式など、意図に基づいて構想・工夫し、相手に伝えることができている。	B 評価の規準 [主体的] ・書の学習を通して自らの創造的な力を高めようとしている。自らの感性を高め、書の伝統と文化に親しもうとしている。 [粘り強さ] ・表現を模索し、工夫しながら取り組んでいる。
※定期考査は実施しません。 提出された作品やワークシート、授業態度で評価します。		※作品やワークシートの未提出、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人は C 評価となります。
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション	1	・書道Ⅱの1年間の学びを知る。
	【漢字の書】 篆書の学習	2	・篆書の成立 ・篆書の特徴
5	篆書の臨書 ・「泰山刻石」	5	・「泰山刻石」の学習と臨書 字形は、おおむね縦長で左右相称 横画は水平、縦画は垂直 転折は丸く滑らか 起筆は蔵鋒 送筆は中鋒で線の太さは均一 ・篆書での創作

6	<p>隸書の学習</p> <p>隸書の臨書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「乙瑛碑」</li> </ul>	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隸書の成立</li> <li>・隸書の特徴</li> <li>・「乙瑛碑」の学習と臨書</li> <li>字形はおおむね扁平</li> <li>横画は水平で等間隔</li> <li>起筆は蔵鋒</li> <li>送筆は中鋒</li> <li>波磔がある</li> <li>・隸書での創作</li> </ul>
7	<p>【篆刻】</p> <p>篆刻の学習</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・篆刻について</li> <li>・印稿を考える</li> <li>・刻す</li> <li>・押印</li> <li>・鑑賞</li> </ul>
8		5	
9			
10	<p>【漢字仮名交じりの書】</p> <p>漢字仮名交じりの書の創作</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片仮名での表現等を用いた自由創作</li> <li>・風景を書で表現する。</li> <li>・タブレットを使用した作品制作</li> </ul>
11		5	
12	<p>【漢字の書】</p> <p>漢字創作の学習</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習古典をもとにした漢字作品の創作</li> <li>・半切2分の1を使用した作品制作</li> </ul>
1		0	
2	<p>【実用書式】</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常に生きる書表現</li> <li>身近にある筆で書かれたものを探し、書文化に親しむ</li> <li>・日常筆記</li> <li>履歴書</li> <li>手紙</li> </ul>
3			

## 令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
英語 コミュニケーションⅡ	普通科・2年	4	

使用教材	<input type="checkbox"/> Power On English Communication Ⅱ <input type="checkbox"/> Power On English Communication Ⅱ スタディノート <input type="checkbox"/> 英単語・熟語 Bricks Ⅰ (いいずな書店)
------	---

科目の目標		
英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5つの領域(聞くこと・読むこと・話すこと【やりとり】【発表】・書くこと)において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各レッスンにおける文法事項、文の形・意味・用法を理解できるようになる。基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につける。学習した用法を話し言葉において、適切な場面・状況で使う技能を身につける。	各レッスンの内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	各レッスンの内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりしようとする。 各課題について、自分のためになるように効果的に取り組む。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [知識] 各レッスンにおける文法事項の文の形、意味、用法を理解している。 [技能] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身につけている。	B 評価の規準 [思考・判断・表現] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	B 評価の規準 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。 課題については、自力で取り組み、丸つけややり直しなどを主体的に行う。また、期日を守って提出する。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	Lesson 1 Play Me, I' m Yours	6	助動詞、受け身、S+V+C
	Sounds Interesting 1	1	目立たない音節
5	Lesson 2 Ethical Fashion	6	S+V+O+C
	Zoon in with コーパス 1	1	インターネットはコーパス
6	Lesson 3 One for All, All for One	5	完了形、仮定法過去
	Sounds Interesting 2	1	目立つ音節
7	Leeson 4 Vending Machines	4	関係代名詞（主格、非制限用法）
8	Lesson 4 Vending Machines	2	関係代名詞（目的格）
9	Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue	6	助動詞+受け身、S+V+C、S+V+O、It seems that ～
	Essay Writing 1	1	エッセイの構成要素
	Zoom in with コーパス 2	1	副詞

10	Lesson 6 New Banknotes	6	It is said that ～、形式目的語、 助動詞 + have + p.p.
	Sounds Interesting 3	1	音のつながり
11	Lesson 7 Some Secrets about Colors	6	関係代名詞（所有格）、同格の that、  前置詞＋関係代名詞、関係副詞
	Zoom in with コーパス 3	1	パターンに注目
12	Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem	6	強調、関係代名詞(, which)、to have p.p.
	Sounds Interesting 4	1	リズム
1	Lesson 9 Flying after Her Dreams	3	譲歩、no matter how(where, when)
2	Lesson 9 Flying after Her Dreams	3	仮定法過去完了、分詞構文
	Sounds Interesting 5	1	イントネーション
	Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	4	過去完了進行形、be + to-do
3	Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	2	未来完了形、提案・命令・要求
	Sounds Interesting 6	1	弱形と強形



## 令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
論理・表現Ⅱ	普通科・2学年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 EARTHRISE English Logic and ExpressionⅡ Standard（数研出版） <input type="checkbox"/> EARTHRISE English Logic and ExpressionⅡ ワークブック（数研出版） <input type="checkbox"/> EARTHRISE アースライズ総合英語（数研出版） <input type="checkbox"/> 英単語・熟語 BricksⅠ（いいずな書店）
------	--

科目の目標		
<p>「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）のうち「話すこと」「書くこと」について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けようとする。</p> <p>○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解する力を養う。</p>	<p>○場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりする力を養う。</p> <p>○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現することができるようにする。</p>	<p>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現することができるようにする。</p> <p>○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする力を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 「外国語理解の能力」 ・外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。 ・外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	B 評価の規準 「外国語理解の能力」 ・外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。 ・外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	B 評価の規準 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 ・コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	Lesson 1 How interesting Japanese Culture is!	3	さまざまな時を表す
	Lesson 2 Wonderful places to visit in Japan	2	可能・義務・必要などを表す
5	Lesson 2 Wonderful places to visit in Japan	1	可能・義務・必要などを表す
	Lesson 3 Precious water for all	3	「～される」を表す
6	Lesson 4 What has happened recently?	3	「～すること」などを表す (to do / doing)
	Lesson 5 I'm into music and movies!	1	doing / done を使って説明する
7	Lesson 5 I'm into music and movies!	2	doing / done を使って説明する
	Lesson 6 Where do you usually	3	人・物・時や場所などについて説明する

	buy clothes?		
8	Lesson 7 What kind of books do you like best?	2	比較を表す
9	Lesson 7 What kind of books do you like best?	1	比較を表す
	Lesson 8 Inventions that changed the way we live	3	仮定を表す
10	Lesson 1 Can you come to our party?	3	感謝する／謝罪する
11	Lesson 2 I'm sure you can make it!	3	心配を述べる／励ます／感想を述べる
12	Lesson 3 How about trying this food?	3	提案する／勧誘する／好みを述べる
1	Lesson 4 Tips for staying healthy	3	助言する／忠告する
	Lesson 5 I'm taking part in some volunteer activities tomorrow	2	依頼する
2	Lesson 6 Where would you like to live in the future?	3	賛成する／反対する
3	Lesson 7 Which candidate is the right person?	3	意見を求める／意見を述べる

## 令和 7 年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
食品製造	総合選択・2年 (普通科S類型・ 総合ビジネス科)	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 食品製造（実教出版） <input type="checkbox"/> 配付プリント
------	--

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品製造に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・身についた] ・食品製造について <u>体系的・系統的に理解することができた。</u> ・関連する <u>技術を身に付けることができた。</u>	<b>B 評価の規準</b> [P D C A学習ができた] ・食品製造に関する課題を <u>発見することができた。</u> ・農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を <u>養うことができた。</u>	<b>B 評価の規準</b> [積極的に行動できた・班員の意見を取り入れた] ・食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう <u>自ら学ぶことができた。</u> ・農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に <u>取り組む態度を養うことができた。</u>
※定期考査では、主に「知識・技能」「思考・判断・表現」を判断します。		
顕著な成果・内容の場合はA評価とし、成果・内容が不十分な場合はC評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	食品製造の意義と動向	2	食品製造の意義、食品産業の現状と動向
	製造実習	2	まるめクッキー
	製造実習	2	絞り出しクッキー
5	食品製造の基礎	2	食品の分類
	製造実習	2	型抜きクッキー
	製造実習	2	マドレーヌ（共立て法）
6	農産物の加工：穀類の加工	2	穀類の種類と特徴、米
	製造実習	2	パウンドケーキ（別立て法）
	製造実習	2	まるめパン、ロールパン
7	農産物の加工：穀類の加工	4	小麦、パン
8	農産物の加工：穀類の加工	2	菓子類
9	食品加工と食品衛生	2	食中毒
	製造実習	2	ベーグル
	製造実習	2	アイスクリーム
10	畜産物の加工	4	牛乳の加工
	製造実習	2	ヨーグルト
11	製造実習	2	バター
	製造実習	2	酸乳飲料
	農産物の加工：穀類の加工	2	菓子類：スポンジケーキ、デコレーションケーキ

12	製造実習	2	スポンジケーキ
	製造実習	2	デコレーションケーキ
1	農産物の加工：果実類の加工品	2	果実の特徴とその加工品
	製造実習	2	ゼリー（ゼラチン）
	製造実習	2	ゼリー（寒天）
2	食品の包装と表示	4	食品の包装、加工食品の表示制度
3	製造実習	2	いちごジャム
	製造実習	2	大福

## 令和 7 年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
総合選択・林産物利用	2 年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 実教出版「林産物利用」
------	--------------------------------------

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、林産物の利用に必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
林産物の利用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	林産物の利用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	林産物が多様な利用につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5 0 %	3 0 %	2 0 %

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

<b>B 評価の規準</b> <b>〔わかった・できた〕</b> ・【まとめ】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 ・説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、 <u>適切にメモに残している。</u>	<b>B 評価の規準</b> <b>〔よく考え、意見を持ち、説明できた〕</b> ・【はじめの問い】や【作業】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考えを記述できている。</u>	<b>B 評価の規準</b> <b>〔粘り強さ〕</b> ・学習活動に真剣に取り組む、仲間と協力して考え、提案や発表ができる。教師のスタンプがある。  <b>〔自分なりの工夫〕</b> ・教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりするなど、独自の記述が3か所以上ある。マーカーやアンダーラインも工夫している。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	森林資源の循環利用と林業・林産業		循環資源としての木材
	循環資源としての木材		製材、カンナがけ、木取り、墨付け
	木造建築物と循環		
5	木造建築物と循環		木材加工業の現状と課題 特殊林産物製造業の現状と課題
	林産業の現状と動向		製材、カンナがけ、木取り、墨付け
6	木材の構造		木材の肉眼的構造
			製材、カンナがけ、木取り、墨付け
7	木材の構造と性質		木材の顕微鏡的構造・物理的性質
			製材、カンナがけ、木取り、墨付け
8			
9	鋸について		両刃ノコギリは縦挽きと横挽きの特性
10	木材の乾燥と保存		木材を乾燥させ利用することの重要性
11	木材の工作		木材を組み上げる工法



12	塗装		木材加工の仕上げの重要性を理解
1	キノコの生産と加工		キノコの生態について理解
2	山菜、薬用植物、つる等		森林資源や林産物の重要性を理解
3	1年間の振り返り		

## 令和 7 年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
生物活用	総合選択・2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 生物活用（実教出版）
------	-------------------------------------

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、園芸作物や社会動物の活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生物活用について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	生物活用に関する課題を発見し、農業や農関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	生物活用について、生物の特性を活用し生活の質の向上につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

<b>B 評価の規準</b> <b>〔わかった・できた〕</b> ・野菜や草花の生産や産業の特徴を理解することができた。 ・野菜や草花の栽培技術を身に付けることができた。	<b>B 評価の規準</b> <b>〔よく考え・意見を持ち・表現することができた〕</b> ・野菜や草花の生産に関する課題に気づき、解決するために自らの考えを説明できた。 ・仲間と協力して行う課題に対して、仲間の意見を聞き、まとめることができた。	<b>B 評価の規準</b> <b>〔積極的に行動できた・協働することができた〕</b> ・野菜や草花に対して興味・関心を持ち、学習や実習に主体的・意欲的に取り組むことができた。 ・学習活動に関して、仲間と協働的に取り組み、周りを見て行動することができた。
※ 定期考査では、主に「知識・技能」「思考・判断・表現」を判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	生物活用の意義と役割	2	生物活用とは何か 生物活用の大切さ
		2	私たちの暮らしと生物活用 【栽培プロジェクト①】夏花壇用草花の播種
5	生物活用とプロジェクト学習	2	プロジェクト学習とは プロジェクトの進め方 【栽培プロジェクト①】夏花壇用草花の管理
	植物・園芸と人間生活	2	私たちの暮らしと園芸 植物・園芸の活用 植物を扱う際の留意点 【栽培プロジェクト①】夏花壇用草花の管理
	野菜・ハーブの栽培と活用	2	野菜・ハーブの活用…コンテナ栽培とは 【栽培プロジェクト②】夏野菜の栽培と管理
6	草花の栽培と活用	2	草花の種類と特性 花壇の活用と管理 【栽培プロジェクト①】夏花壇のデザイン・定植
		2	園芸デザイン 【栽培プロジェクト②】夏野菜の栽培と管理
6	野菜・ハーブの栽培と活用	2	野菜の種類と特性 野菜の栽培

			【栽培プロジェクト②】夏野菜の栽培と管理
7	野菜・ハーブの栽培と活用	2	ハーブの種類と特性 ハーブの栽培 【栽培プロジェクト③】コンパニオンプランツ
		2	ハーブの利用 花壇の活用と管理（切り戻し等） 【栽培プロジェクト①】夏花壇・野菜の片づけ
8	生物を活用した療法	2	生物を活用した療法とは 植物を治療に活用する…ハーブの活用 【栽培プロジェクト③】秋冬野菜栽培の計画
9	草花の栽培と活用	2	草花の種類と特性 花壇の活用と管理 【栽培プロジェクト④】秋春花壇の計画・播種
	野菜・ハーブの栽培と活用	2	キッチンガーデン 【栽培プロジェクト③】秋冬野菜の栽培と管理
	草花の栽培と活用	2	室内園芸装飾 【栽培プロジェクト⑤】観葉植物の繁殖と栽培
10	草花の栽培と活用	2	地域緑化、都市緑化 【栽培プロジェクト③】秋冬野菜の栽培と管理 【栽培プロジェクト④】秋春花壇の栽培と管理
	生物活用の実践	2	交流活動の大切さ 交流活動の心がまえ 【栽培プロジェクト④】秋春花壇の栽培と管理 【栽培プロジェクト⑤】観葉植物の栽培と管理
11	交流活動の実際	2	交流活動の実施の流れ 対象者の理解 活動計画の立案・実施 【交流活動】交流活動の計画・交渉
	野菜・ハーブの栽培と活用 草花の栽培と活用	2	【栽培プロジェクト③】秋冬野菜の栽培と管理 【栽培プロジェクト④】秋春花壇の栽培と管理
	交流活動の実際	2	【交流活動】交流活動の実際
12	交流活動の実際	2	活動のまとめ 【交流活動】交流活動のまとめ（御礼状書き等）
	野菜・ハーブの栽培と活用	2	2学期のまとめ 【栽培プロジェクト③】片付け等
1	園芸療法とは	4	園芸療法とは 世界や日本における園芸療法の実際 【栽培プロジェクト⑤】観葉植物の栽培と管理

2	動物介在療法	2	動物介在療法とは 世界や日本における動物介在療法の実際 【栽培プロジェクト⑤】観葉植物の栽培と管理
3	1年間のまとめ	2	1年間の学習をまとめる

## 令和7年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
ビジネス基礎	総合選択2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 ビジネス基礎（実教出版） <input type="checkbox"/> ワークブック ビジネス基礎準拠問題集（実教出版） <input type="checkbox"/> 検定問題集 全商商業経済検定模擬試験問題集（実教出版）
------	--

科目の目標		
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力と次のとおりに育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。	ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決ことについて考えている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [理解できた・完成した] ・【ワークブック】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 ・説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、 <u>適切にメモに残している</u> 。	<b>B 評価の規準</b> [発展した学習によく考え、取組み、説明できた] ・【設問】や【テレビ学習】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考えを発表できている</u> 。 ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、 <u>仲間のサイン</u> を受けている。	<b>B 評価の規準</b> [粘り強さ] ・学習活動に真剣に取り組み、ネット副教材にじっくり取り組むことができる。 [自分なりの工夫] ・自分の到達目標を決め、予習復習、進んだ学習ができている。商業経済検定3級は全員受験。マーケティング2級は、問題集を各自購入し、11月から独学です。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	第1章 商業の学習とビジネス 1. いざ、ビジネスの世界へ 2. 私たちの社会とビジネス	1	商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解します。
		2	ビジネスの役割について、企業の社会的責任や、環境、エネルギー、食料などの社会的な課題及びビジネスの動向・課題について具体的な事例と関連付けて学びます。
		2	実践する力、職業人として必要な豊かな人間性、他者と協働する力を身に付けます。
5	第2章 ビジネスとコミュニケーション 1. コミュニケーション 2. ビジネスマナー 3. 情報の入手と活用	2	ビジネスにおける信頼関係構築の意義と重要性を学びます。

		2	ビジネスマナーの意義を理解し、場面に 応じて考え、活動できる力を身に付けま す。
6		2	企業活動における情報の重要性を理解 し、情報活用及び評価・改善を行います。
	第 3 章 経済と流通の基礎 1. 経済の仕組みとビジネス 2. 経済活動と流通	1	経済の仕組みと流通の必要性について理 解します。
		2	経済の基本概念、流通の役割など経済と 流通に関する知識を基盤として、流通に関 する課題を発見し、その解決方法を考えま す。
7		3	流通を支える組織の一員としての役割を 果たすことができる力を身に付けます。
	第 4 章 さまざまなビジネス 1. ビジネスの種類 2. 小売業 3. 卸売業 4. 金融業 5. 情報通信業	2	ビジネスの種類について理解し、流通や 流通に関わるビジネスについて学びます。
8		2	流通や流通に関わるビジネスに関する知 識を基盤として、流通や流通に関わる様々 なビジネスに関する課題を発見し、その対 応策を考えます。
9		3	流通や流通に関わる組織の一員としての 役割を果たすための力を身につけます。
	企業活動の形態と組織、マーケテ ィングの重要性と流れなど企業活動 に必要な知識を学びます。	2	企業活動の形態と組織、マーケティング の重要性と流れなど企業活動に必要な知識 を学びます。
10		3	企業活動に関する知識を基に、企業活動 の動向など、企業活動に関する課題を発見 し、その対応策を考えます。
		2	企業活動の展開について、組織の一員と しての役割を果たすことができる力を身に つけます。
11	第 6 章 ビジネスと売買取引 1. 売買取引の手順	3	売買取引、代金決済など取引に関する知 識や技術を学びます。



	2. 代金決済		
		2	取引に関する知識や技術を基に、実務における取引に関する課題を発見し、その対応策を考えます。
12		2	契約の履行と締結について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につけます。
	第7章 ビジネス計算 1. ビジネス計算の基礎 2. ビジネス計算の応用	1	ビジネス計算に関する知識や技術を学びます。
		2	ビジネス計算について学び、その知識と技術で組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につけます。
1		2	
	第1章から第3章までのまとめ	2	第1章から第3章までの総まとめ、復習、そして新たな展望を切り開くため、学習のおさらいを行います。
		1	
2	第4章から第7章までのまとめ	5	第1章から第7章までの総まとめ、復習、そして新たな展望を切り開くため、学習のおさらいを行います。
3	第8章 身近な地域のビジネス 1. さまざまな地域の魅力と課題 2. 地域ビジネスの動向	1	さまざまな地域の魅力と課題、地域ビジネスの動向について学びます。
			ビジネスの振興による地域の発展について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につけます。

## 令和 7 年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
コミュニケーション技術	2 年普通科 (S 類型) 総合ビジネス科	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 実教出版株式会社 コミュニケーション技術
------	---

科目の目標		
福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、対人援助や福祉実践の場での人間関係の構築に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
対人援助について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	対人援助の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、適切な対人援助に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 0 %	3 0 %	3 0 %

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> 定期的に小テストを実施し、授業内容が理解できているかを確認する。 <b>【評価物】</b> ・小テスト	<b>B 評価の規準</b> グループワークや演習などを取り入れながら、コミュニケーション能力や観察力、判断力、思考力などを身に付ける。 [評価物] ・ワークシート ・授業中の発言	<b>B 評価の規準</b> ・授業中の態度(積極的に参加・発言しているか?) ・提出物やノートの状況(期日をもっているか? メモはとられているか? 空欄なく書いているか?) [評価物] ・提出物 ・課題レポート
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	第 1 編 介護におけるコミュニケーション 第 1 章 コミュニケーションの意義と役割	4	人間の理解と人間関係
			コミュニケーションの意義・目的・役割
5	第 3 章 援助の技法とコミュニケーション	13	言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション
			受容と共感
6			対人援助におけるコミュニケーションの実際
			個別援助、集団援助
	第 2 編 サービス利用者や家族とのコミュニケーションサービス利用者や家族との関係づくり	6	利用者や家族との関係づくり 家族への支援
7	第 2 章 サービス利用者に応じたコミュニケーション	4	高齢者とのコミュニケーション
8			

9	第2章 サービス利用者に応じたコミュニケーション	4	認知症の人とのコミュニケーション
10 11	第2章 サービス利用者に応じたコミュニケーション	16	障害とコミュニケーション 知的障害のある人とのコミュニケーション 視覚障害のある人とのコミュニケーション 聴覚障害のある人とのコミュニケーション 手話、点字
12	第2章 サービス利用者に応じたコミュニケーション	12	言語障害のある人とのコミュニケーション 運動機能障害のある人とのコミュニケーション
1	第3章 介護におけるチームのコミュニケーション	2	記録の意義と目的
2 3	第3章 介護におけるチームのコミュニケーション		記録の種類 記録の方法と管理